

平成 27 年 7 月 10 日

報 告 書

島田市議会議長 紅林 貢 様

島田市議会議員	佐野 義晴
島田市議会議員	平松 吉祝
島田市議会議員	村田千鶴子
島田市議会議員	桜井 洋子
島田市議会議員	清水 唯史
島田市議会議員	藤本 善男
島田市議会議員	八木 伸雄
島田市議会議員	青山 真虎
島田市議会議員	仲田 裕子

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。
対象となった団体は、島田市商工会です。

- 1 日時 平成 27 年 7 月 10 日（金）
午後 7 時 00 分～午後 8 時 40 分
- 2 会場 金谷公民館（みんくる）会議室 3・4
- 3 参加者数 19 人（男性 12 人、女性 7 人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員 他
 - (2) 司会 平松 吉祝
 - (3) 挨拶（概要） 佐野 義晴
 - (4) 報告 （総務消防）藤本 善男 （厚生教育）清水 唯史
（経済建設）村田千鶴子
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 仲田 裕子

5 報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

① 総務消防常任委員会

各常任委員会の担当部署（変更があったため）の紹介をした。

●平成 27 年度一般会計補正予算

- ・ 社会保障・税番号制度システム（総務省分）増額財源組み替え。
委員から、個人情報保護されるのか等の議論あり。

●旧慣による公有財産の使用権の廃止について。

国道 473 号の工事に伴う旧村名義の財産処分の件。

② 厚生教育常任委員会

●新市立島田市民病院建設基本計画とりまとめ中間報告。

資料を提示して説明する。

主に、先の基本構想との違い（変更）について報告説明。

③ 経済建設常任委員会

●平成 26 年度一般会計補正予算

- ・ 新たに地域生活部が当委員会の所管に入った説明。
- ・ 道路新設改良費について国へ予算要望するが、要望の 50%を切っている。
満額くるとは限らない等の説明。
- ・ 田代の郷温泉の指定管理者の導入について
安全面から手すりをつけ 100%のシルク湯の形で受け渡しをすべきではないか等の議論あり。
- ・ 島田市民憲章の議決に関する条例について
議案条例をつくる理由を説明。

④ 報告に対する質疑

Q：3 常任委員会以外に委員会はありますか。

A：他に 4 つの特別委員会がある。

(2) 意見及び情報の交換について（今回はテーマ設定なし。）

- ・ 地方創生に対してどんなことをやったら「まちづくり」につながるか。
- ・ プレミアム金券の島田市独自のものが見えない。
- ・ プレミアム金券以外の、継続性のある人口減少に対する施策はあるか。
- ・ 子育て世代をサポートし、安心して 2 人目を産む環境づくりに対する施策が見えないため、島田市に住むメリットがない。このままでは島田市の将来はない。
- ・ 教育の大切さ、幼い時からふるさとを愛する心を育てることが、一度市外へ出て
も、島田市に戻ってくる。そんな教育を望む。
- ・ 新東名のインターが出来て市民は期待した。市民は頑張っている。市当局もがん

ばってほしい。市は力不足ではないか。

- ・ 地方版総合戦略は、島田市は期限までに間に合うのか。
- ・ 夢ふくらむ文化事業費が減っている。減らすべきではない。
- ・ 島田市には自然や建造物など財産が多くある。それを線で結ぶ活性化事業を望む。
- ・ 空港の新幹線駅の問題で、県の方針と市の方針をしっかりとすべきである。
- ・ 空港の新幹線駅は、メリット・デメリットを調査すべきである。
- ・ 島田市世界一を目指せ！！この会も有意義で世界一とする。子供達にジュニアエコノミーを推進して活動している。商工会青年部の活動に議員も協力し、一緒に各地域を篤くして行きたい。
- ・ 市民各位の意識の向上を、JA 組織・各自治会・商工会等、議員も共に手をつないでやって行こう。

(3) 市等への要望事項

- ・ 市民は努力しがんばっている。市の職員もがんばってほしい。

6 まとめ（所見）

商工会の皆様から、多方面のご意見を頂きました。

女性の参加者からも、活発な意見が出され、議会としての責任は重いと再確認した。

「島田市を愛し、島田市の活性化を心から望み、若者が安心して暮らせる島田市を、市民・議員・行政が一丸となって知恵を絞ることに努力すべき時は、今である。」と強く考えました。